

まきよう通信

2014.
秋号

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.159

[特集]神戸薬科大学の「チーム医療教育」 後編

“討議”で学ぶ

まきよう便り 中山 尋量 教務部長

研究紹介 連載第4回

「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」

～薬品物理化学研究室～

研究室探訪

微生物化学研究室／薬理学研究室

神薬ごよみ 〈MANABI白書・Event Report・Information〉

OKAMOTO MAP

「薬剤師」を鍛える 生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

表紙探訪:ベンゼン池

学長メッセージ



神戸薬科大学

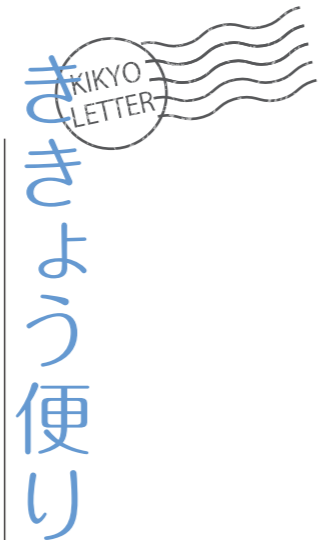
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

教学の充実を目指して、
カリキュラムを改訂しています。

2006年に薬学部6年制がスタートしてはや8年が経過し、この春3期生を送り出しました。薬学部では「薬学教育モデル・コアカリキュラム」と「薬学教育実務実習・卒業実習カリキュラム」に基づいて講義が構成されています。2002年に作成されたこの6年制のカリキュラムも、10年を経て、いろいろと問題点が指摘されるようになってきました。この動きを受けて数年前から改訂が検討され、2013年12月に「平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム」が文部科学省より公開されました。これにより、各大学では2015年4月入学生からの実施を目指してカリキュラムの改訂作業を行っています。

改訂版では、薬剤師として求められる資質を明確にし、6年制学部・学科の学士課程教育に特化し、これまでのコア(必須)の内容を大幅に絞り込んだものになっているとともに、薬剤師として身につけるべき使命、倫理観、信頼関係の構築などの【A基本事項】や【B薬学と社会】の内容が充実したものになっています。

医療の急激な進歩、これからのさらなる高齢化社会を迎えるにあたり、薬剤師の果たすべき役割も大きく変化しつつあります。本学におきましては、このような未来の薬剤師像を目指し、本学独自の選択科目を増やしたカリキュラムの改訂を進めていきたいと考えています。



機能性分子化学研究室 教授
中山 尋量 教務部長

Vol.159 contents

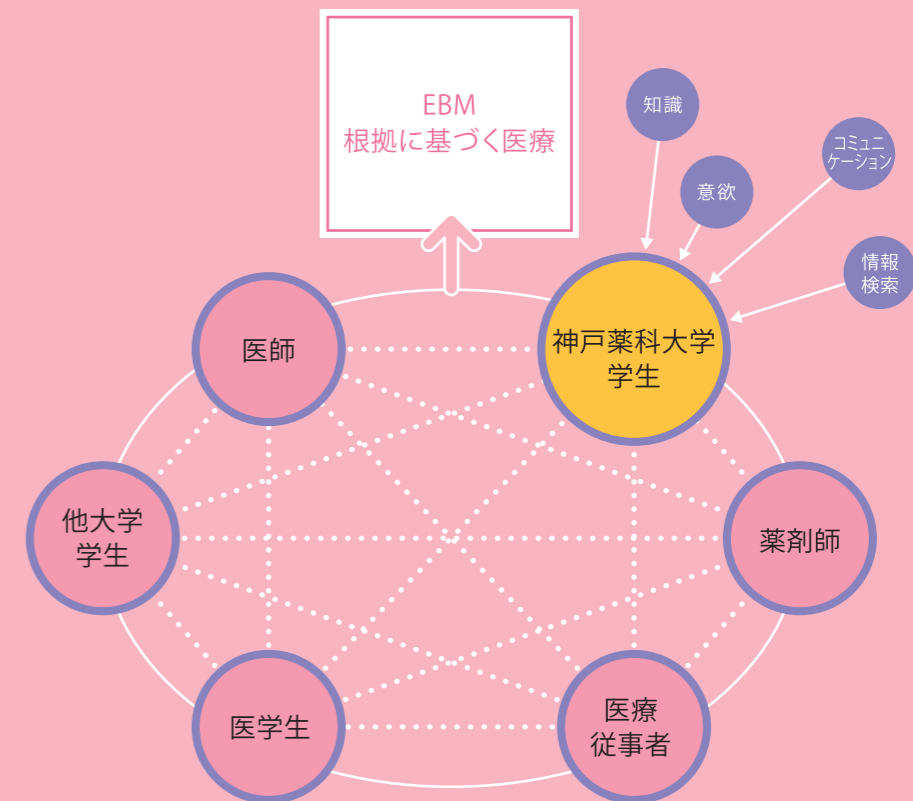
- | | |
|--|------------------------------------|
| 1 ききょう便り 中山 尋量 教務部長 | 13 神薬ごよみ<Information> |
| 2 特集 神戸薬科大学の「チーム医療教育」後編 “討議”で学ぶ | 14 「人に向かう医療」を考える「第5回がんプロ講演会」 |
| 5 研究紹介 連載第4回 「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」
～薬品物理化学研究室～ | 15 OKAMOTO MAP |
| 7 研究室探訪 微生物化学研究室／薬理学研究室 | 17 部活動レポート ダンス部／SLT 同好会 |
| 9 神薬ごよみ<MANABI白書> | 19 大学生活ニュース「就職ガイダンス・キャリア教育講座 実施報告」 |
| 11 神薬ごよみ<Event Report> | 21 「薬剤師」を鍛える エクステンションセンター |
| | 22 表紙探訪 ベンゼン池 / 学長メッセージ 北河 修治 学長 |

[特集] 神戸薬科大学の「チーム医療教育」後編

“討議”で学ぶ

薬剤師が、薬物治療に関する最新のエビデンス(臨床結果)を手に入れ、処方を選択を医師に提案できれば、医療チームはより高度なチームに進化します。そのためにも英語で書かれた臨床研究の論文の内容を理解する力が必要です。しかし、英語論文を最初から読み進めることは、決して容易ではありません。

「CASP」という「EBM(根拠に基づく医療:Evidence-Based Medicine)」を学ぶワークショップの魅力は、現役の医療従事者や他大学、他学部の学生と一緒に論文を読んでいくというスタイルにあります。参加者には、医師や薬剤師のほか、医学生もいます。英語論文の読み方を学べると同時に、今の医療のキーワードともいえる「多職種協働」を体験できる機会でもあります。本学ではこの取り組みを「Student CASP Workshop in Kobe」として2010(平成22)年度から導入しています。今回はこの「Student CASP」を紹介します。



CASP : Critical Appraisal Skills Programme

“討議”で学ぶ

多職種間で問題解決に挑むワークショップ Student CASP



Student CASP(以降CASP)は、想像上の症例を示したシナリオをもとに、そのシナリオの患者にどのような治療を適用するかをディスカッションするワークショップです。ディスカッションするにあたっては、検討するための知識、医療情報や論文から得る必要があります。ほとんどの論文は英語で書かれており、英語の読解も統計学的な処理も、学生にはかなり難しいことです。

CASPでは、論文の形式に合わせたチェックリストに従って、グループワークで論文のポイント「PICO*」を押さえています。PICOがどこに書いてあるかは、何回か参加するうちに、おおまかにつかめるようになります。

※ PICO

Patient(患者)…どのような患者か / Intervention(介入)…どのような治療・投薬か / Comparison(比較対照)…何と、どのように比べたのか / Outcome(臨床成果)…患者はどうなったのか

ワークショップの流れ

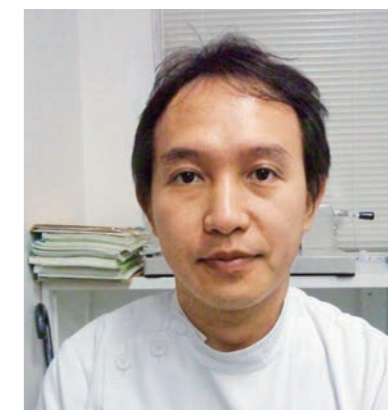
- Step1 患者さんの話からキーワードを抽出する
- Step2 キーワードをもとに医療情報を検索する
- Step3 見つけた論文の妥当性を吟味する
- Step4 患者さんへの適用についてチームで検討する

EBM(根拠に基づく医療)教育は、 自分で考える「活きた医療者」を育てる道

Student CASPを始めたきっかけを教えてください。

2002年当時、EBMを勉強するには独学ではなく、一人で学ぶよりも勉強会を作ろうと周囲に声をかけました。同業である医師からの反応はなく、代わりに応じてくれたのが京都府立医科大学の学生たちでした。そのとき、臨床現場の技術であるEBMを学生に教えることに意味があるのか悩んだことを覚えています。

しかし、勉強会の半年後には、学生と共に参加した社会人対象のEBMワークショップでこの取り組みが高く評価され、また、主催したワークショップでは、学生が教える側として活躍してくれるまでになりました。これらの体験があって、EBM教育は常に学生も視野に入れて行っています。



千春会病院 内科 地域連携室 室長
高垣 伸匡 先生

プロフィール

1997年 京都府立医科大学卒業
専門は消化器内科
2012年7月から現職
2003年 EBM Teaching Workshop (Oxford)に参加
2002年からCASPワークショップや、EBMワークショップを開催。かかわったイベントは50回以上。

Student CASPで学生に学んでほしいことは?

EBMは臨床経験がなくてもワークショップの工夫次第でかなりの部分を習得できます。むしろ、純粋に論文と向き合い、さまざまな現場を想定して対策を講じることは、学生のほうが得意かもしれません。一人の医療者が、自分の頭と心で考えることは、医療のためにも、自分自身のためにも重要なことです。確固たる医療情報をもとに、多様な説明や工夫が求められるEBM教育は、自分で考える「活きた医療者」を育てる道であることを理解し、習得してほしいと願っています。

チーム医療における薬剤師の役割とは?

臨床能力をマスターした薬剤師が登場してまだ日が浅い日本の医療界において、先輩方の尽力で、少しずつ薬剤師の世界が変わってきました。学生には、未来の薬剤師として、どんな世界で働きたいか? どんな制度を作りたいか? そのためにどんな学びが必要か? どんな仕事をすべきか? 持てる想像力を最大に発揮して、医療のために薬剤師が活躍する舞台を構築してほしいと考えています。そして、薬の専門知識を生かして、医療を一筋につないでほしい。医療において、薬は非常に力のある存在であり、薬剤師は、その手綱を握っているのです。

参加者インタビュー

自分ではたどり着けない
答えに導いてくれます

多様な意見に触れられ
視界が広がります

CASPで提示される論文テーマや臨床試験の種類が毎回違うため、読み進めるのに苦労しています。それは、英語の専門用語や臨床試験など、論文を読むために必要な知識が少ないためですが、インターネットで調べたり、参加者の皆さんに教わったりして、少しずつ読めるようになってきました。現場で働く方々は、同じ論文やシナリオを読んでいるのに、目のつけどころが違います。グループで話し合っただけでいくスタイルは、自分ではたどり着けない答えに導いてくれると実感しています。



4年 平尾 采美さん

現在、薬剤師として薬局に勤務しています。在学時に比べて論文に触れる機会は少なくなりましたが、CASPに参加して勉強を続けています。ここで学んだ「論文を読み解く力」「疑問から始まる考え方」は、製薬会社のパンフレットを読んで、「この臨床結果は信用していいのか?」と、その薬が本当に患者さんのメリットになるのかどうかを考えるときに生かしています。難しそうと思うかもしれませんが、それは最初だけです。多様な意見に触れて視界が広がるので、在学生にはぜひ積極的に参加してほしいと思います。



2014年卒業 田丸 蓉子さん



医療薬学研究室
水野 成人 教授

学生の可能性を広げるCASpで 将来のチーム医療に役立つ力をつけよう。

CASPのコーディネーターである高垣先生が、現役の薬剤師、医師や医学生などを対象にEBMを学ぶワークショップを開催していることを知り、ぜひ、学生が参加できる機会をと考え、本学に導入していただくようお願いしました。

学生にCASpで学んでほしいことが二つあります。一つは、臨床研究の論文内容を、概略だけでもつかみとれる力をつけ、その内容を批判的な視点から吟味し、患者さんにどのように適用していくかを具体的に考えてもらいたいということ。もちろん、これはCASpの本来の目的です。そしてもう一つ。多職種協働を体験し、医療にかかわる多様な職種の強みや弱み、特性を知ってください。これは将来チーム医療を行うときに、きっと役立つと思います。CASpを通して、学生の持つ無限の可能性を広げてもらえればうれしいです。

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

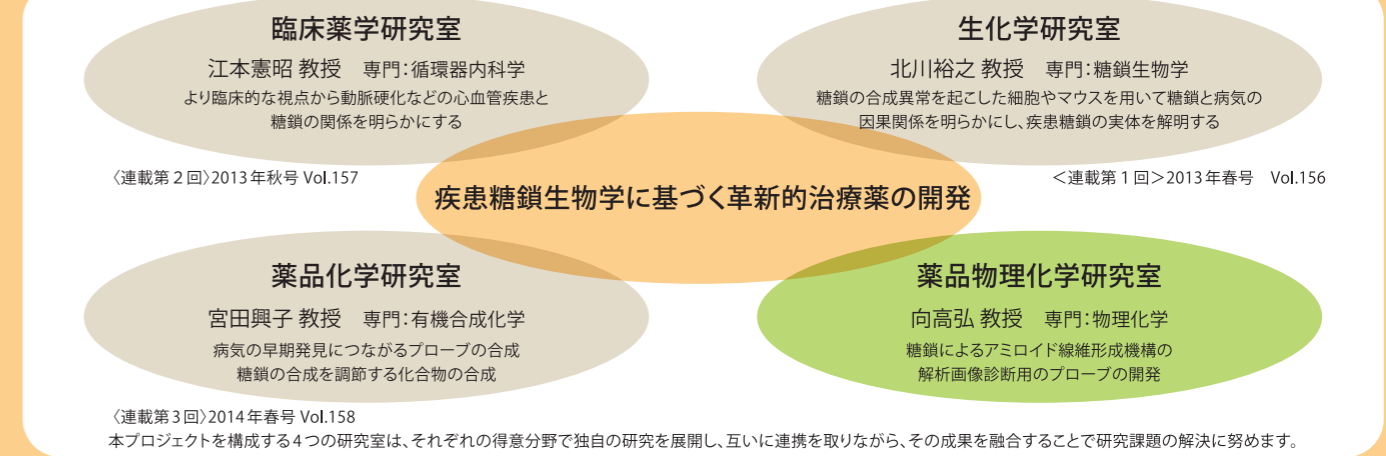
疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発

神戸薬科大学は、優秀な薬剤師を養成する歴史ある大学であるとともに、高い水準の基礎研究活動を活発に行ってきました。基礎研究への取り組みが評価された一例として、2012(平成24)年度より採択された「文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業-疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発-」を4回に分けて紹介しています。今回は最終回です。

プロジェクトの目標

本プロジェクトの目標は、病気になるとつくられる異常な糖鎖(疾患糖鎖)が病気の原因である可能性や生活習慣病などの病気を発症させる背景になっている可能性を示すことです。「糖鎖疾患」という病気の新しいカテゴリーを構築し、このような疾患に共通する分子基盤を発見していくことで、疾患糖鎖が新規治療薬の標的となる可能性を基礎研究レベルで示すことを目指しています。

プロジェクト組織図



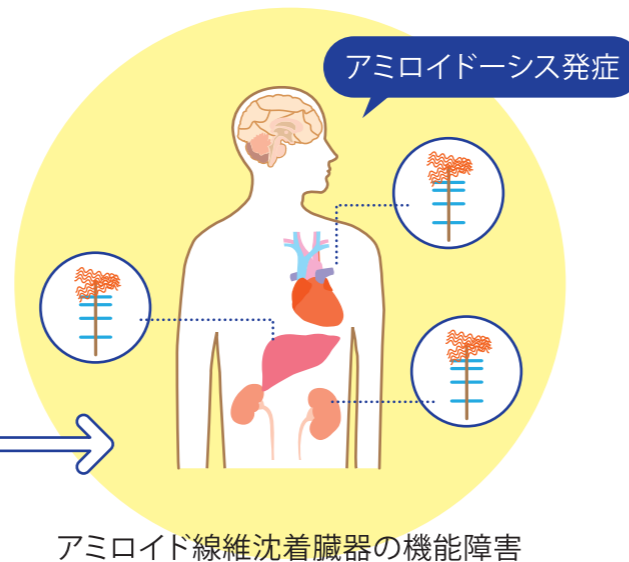
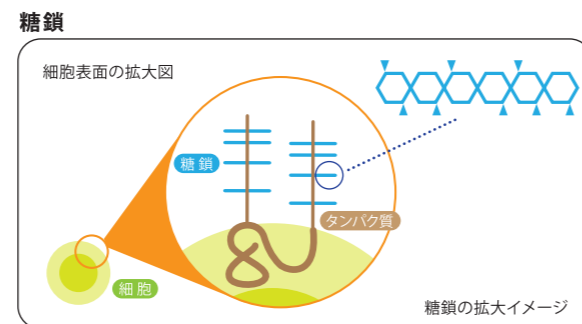
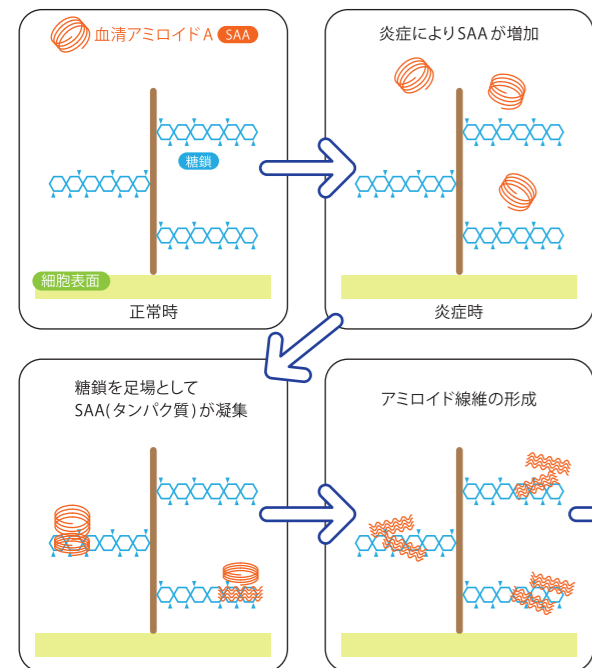
薬品物理化学研究室 向高弘 教授

物理化学的手法を駆使し、生命現象、生体および病態の特性を解明するとともに、得られた情報を基に、診断薬、治療薬の創薬研究を行っています。

薬品物理化学研究室内のミッション 異常タンパク質が起こす臓器障害、 アミロイドーシス発症の謎を探る!

不溶性の線維状タンパク質が細胞に沈着し、臓器の機能障害を引き起こす疾患「アミロイドーシス」。発症のメカニズムは、まだよくわかっていません。アミロイドーシスを引き起こすタンパク質「血清アミロイドA(SAA)」の研究に取り組んでいる薬品物理化学研究室は、「何らかのきっかけ」で発症するアミロイドーシスに「糖鎖」がかかわっていると考え研究しています。

アミロイド線維の形成のイメージ図



薬品物理化学研究室 田中 将史 講師

私たちの身体の中には、たくさんのタンパク質が存在します。普通は特定の立体構造をとって正常に働いていますが、その立体構造が壊れてしまうと、タンパク質同士が集まってアミロイド線維と呼ばれる不溶性の凝集体を形成します。このアミロイド線維が臓器に沈着し、機能障害を引き起こす疾患を総称してアミロイドーシスと呼びます。一般の人にもよく知られているアルツハイマー病やプリオン病(ウシの場合、いわゆる狂牛病:BSE)も、実は脳内におけるアミロイドーシスです。このような疾患は、今後、高齢者人口の急増に伴い患者数が増加すると予測されています。

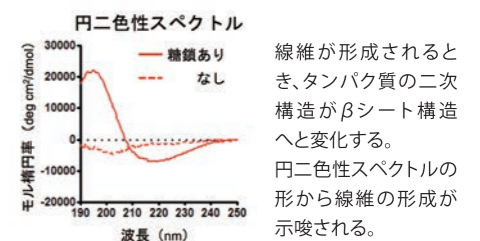
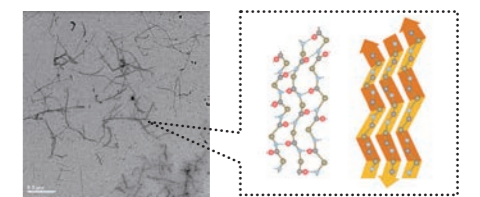
アミロイド線維の基となるタンパク質はこれまでに20種類以上が知られ、病気の起こる仕組みもさまざまです。当研究室では、関節リウマチなどの慢性炎症性疾患に伴って血液中に増加し、アミロイドーシスを引き起こす血清アミロイドA(SAA)というタンパク質を研究しています。SAAは正常な体内では非常に少なく、アミロイドーシスを引き起こすことはありません。また、関節リウマチの患者さんが、必ずしもアミロイドーシスを発症するわけではなく、「何らかのきっかけ」によってアミロイド線維が形成され、臓器に沈着します。この「何らかのきっかけ」に「糖鎖」がかかわっていると考えて研究を行っています。実際、アミロイドーシス患者の沈着臓器には、ヘパラン硫酸などの糖鎖の存在がコンスタントに認められています。

では、糖鎖がどのようにアミロイド線維の形成に関与するのでしょうか。糖鎖は全身に存在しているにもかかわらず、特定の臓器にだけアミロイド線維の沈着が起こります。その原因として、糖鎖の「ある構造的要因」がアミロイド線維の形成を促進することが示唆されてきました。しかしながら、それを解明するためには、当研究室の既存の技術だけでは不可能でした。そこで、マウスの臓器から糖鎖を抽出する技術を生化学研究室(北川先生)の灘中先生に、また、糖鎖からある構造のみを選択的に除去する反応を薬品化学研究室(宮田先生)の上田先生にそれぞれ教えていただきました。

研究の結果、糖鎖の「ある構造的要因」がアミロイド線維形成の「足場」としての役割を果たすことを見出し、足場の役割を阻止することでアミロイドーシスを防ぐことができる可能性が考えられました。以上の実験を中心に行っている大学院生の高瀬ひろかさんは、それらの研究成果を発表し、いくつかの賞を受賞しています。このように、戦略的研究基盤形成支援事業による連携によって成果を挙げつつあります。



円二色性スペクトル測定中の高瀬ひろかさん



研究室探訪



免疫の機構を分子のレベルで解明し、免疫を病気の治療に役立てることを目標に、研究を行っています。

微生物化学研究室

【スタッフ】小西守周 教授 中山喜明 講師 増田有紀 助教
【学 生】5年:10名 6年:16名



研究テーマは？

私たちは、微生物やがんなど、自分の体に侵入してきた、もしくは生じた異物を除去するシステムを持っています。この異物除去のシステムを「免疫」と呼びます。私たちの研究室では、この免疫の機構を分子のレベルで解明すること、さらにこの免疫を活性化することにより、さまざまな病気の治療に役立てることを目標に、研究を行っています。

現在取り組んでいる研究内容は？

細胞がつくり、細胞の外に放出する分子を「細胞外分泌因子」と呼びます。免疫の仕組みでは、この細胞外分泌因子が免疫を担当する細胞同士のコミュニケーションツールとして重要な役割をすることがわかっています。私たちは、細胞外分泌因子の一つである「FGF」という分子が胸腺という免疫器官において産生されることに着目し、免疫の仕組みにおけるFGFの役割を明らかにしようとしています。ほかにも、食用きのこであるマイタケ由来の多糖体が持つ免疫活性化作用を利用して、新たながん治療法の開発も検討しています。

研究室での学生たちは？

学年や研究テーマ等にとらわれず、和気あいあいとした雰囲気の中、実際に手を動かす実験、データ解析やセミナー発表準備のためのデスクワークなどに熱心に取り組んでいます。研究論文の紹介や、研究の進捗状況を報告するセミナーでは、積極的な発言を推奨しているため、学生と教員、もしくは学生と学生の間で、非常に活発な議論ができています。



小西守周 教授



高知市 桂浜にて

今年のゼミ旅行は高知！

研究活動もイベント活動も熱心な学生たちが集まる、和気あいあいとした研究室です。今年のゼミ旅行は、日程の問題で全員参加とはなりませんでした。高知まで行って来ました。

本学には17の薬学専門研究室があります。どのような研究を行っているのかはもちろん、研究室の雰囲気や、学生たちが生き生きと学ぶ様子を楽しくお伝えします。

アレルギー疾患および自己免疫疾患の発症機序を明らかにし、新規の疾患特異的治療法を確立することを目指しています。

薬理学研究室

【スタッフ】吉野伸 教授 水谷暢明 准教授 八巻耕也 講師
【学 生】5年:15名 6年:15名



研究テーマは？

免疫異常によって引き起こされる病気としてアレルギー疾患および自己免疫疾患があります。本研究室では、これらの免疫疾患の発症機序について明らかにするとともに、新規の疾患特異的治療法を確立することを目指しています。

現在取り組んでいる研究内容は？

スギ花粉症、気管支喘息・アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの主な原因物質（抗原）として、それぞれスギ花粉、ダニ、卵白アルブミンが知られ、また代表的な自己免疫疾患である関節リウマチの自己抗原としてII型コラーゲンが報告されているため、これら抗原に対するモノクローナル抗体^{*1}を作製し、これら抗体によって誘導されるアレルギー疾患あるいは自己免疫性関節炎におけるサイトカインなどの生理活性物質^{*2}の役割について、マウスを用い検討しています。さらに、抗原とは結合しますが、疾患誘導能を有さないモノクローナル抗体「Fab」によってこれら疾患が抗原特異的に制御されるかどうかについて検討しています。

研究活動を通して学生に学んでほしいことは？

限られた時間ですが、与えられた研究テーマを深めることによって論理的な思考能力を養ってほしいです。また、得られた実験結果について仲間とディスカッションすることによって、よりよいアイデアが生まれることを体験してほしいです。

*1 1種類のB細胞（免疫細胞）からつくられた1種類の抗体
*2 生体の生理活動に何らかの作用をもたらす物質



吉野伸 教授



定期的に行っている研究室内の実験報告会

実験報告会

ゼミ生は、まず、与えられた研究テーマの背景を理解し、仮説を証明するために実験方法を習得します。次に実際に実験し、得られる結果について考察するとともに、実験報告会で発表します。

神薬ごよみ

キャンパスカレンダー(学年暦)と併せて、学内の今、そして、これからの取り組みを3つのコンテンツでお届けします。

MANABI白書

半期における各学年の学習や
実習報告をお伝えします。

Event Report

半期の主な学内イベントを
ご報告します。

Information

今後の行事を中心に、
学内外のニュースをお伝えします。

MANABI白書

2014年度 前期の学習報告

1年次

早期体験学習を終えて

見学先: 神戸市立医療センター西市民病院

実習先の病院で、病院薬剤師の業務や役割のほか、薬の専門家である薬剤師の魅力を教えていただきました。病院薬剤師の仕事は多岐にわたるため、広く深い知識が求められます。その知識を患者さんにわかりやすく伝えるためには、コミュニケーション力も必要です。服薬指導で、患者さんを怖がらせないように、薬や副作用の説明をしているところを見て、大切なことを学んだように思います。早期体験学習は、理想の薬剤師像や6年後の目標を考えるきっかけになりました。



早期体験学習 発表会

早期体験学習

グループごとに薬局や病院を見学。その後、設定したテーマをもとに、スモールディスカッションを行います。全クラス参加の発表会もあり、今年は6月27日に開催しました。



1年 翁 怜奈さん

3年次

学習報告 実務実習事前教育

実際に調剤薬局で働いている薬剤師を招いての、問診をシミュレーションする演習が楽しかったです。患者役の薬剤師の方に、薬剤師役の私が問診をしているときの表情や言葉づかいなどを指導していただいたのは貴重な体験でした。また、問診票の質問は、患者さんの何を知るためのものかを学び、わずか数問から得る情報の大切さに気づかされました。後期からは薬学共用試験に向けた勉強はもちろん、来年の長期実務実習で実力を発揮できるように授業内容をしっかり身につけていこうと思っています。



実務実習事前教育(水剤の調製)

実習・授業の特長

実際の現場を意識した実習・授業が中心。提示された事例や問題に対し、グループで意見を出し合い、考えることに重点を置いた、学生が自発的に取り組む授業を多く取り入れています。



4年 土屋 仁美さん

PICK UP マサチューセッツ薬科健康科学大学 来訪

3・4・5年次



エキサイティングな4日間! MCPHS生との学内国際交流が実現

2014年6月23日(月)から4日間、海外薬学研修の研修先として交流のあるMCPHS※から、教員と学生2名の来日による交流プログラムを実施しました。短期間ではありましたが、学生に大きな刺激を与えるエキサイティングな機会が得られました。

※ マサチューセッツ薬科健康科学大学



合同授業

Assistant Professor Dr. Khaled A Elsaid, Ph.D には、研究対象である前立腺がん治療について、研究成果をもとに授業を行っていただきました。



プレゼンテーション

堂々としたMCPHS生のプレゼンテーションは、「プレゼンの国」アメリカの片りんが感じられました。



ミーティング

MCPHS生に5・6年次生からの実習経験をもとにした実践的な質問に答えていただきました。4年次生による好奇心に満ちた質問や、留学生の卒業後の進路についての質問には、「Good Question」というフレーズが飛び出しました。

将来を見据えて取り組む姿勢を見習いたい

薬学研修でMCPHSを訪れたとき、英語力が乏しく悔しい思いをしたことから、帰国後に英語の勉強を強化。その成果を確かめたいと参加しました。MCPHSの学生は話すスピードが速く、聞き取れないところもあったのですが、先生はわかりやすく、いねいに話をしてくださったので、大体の内容は理解できたと思います。また、質問会では、私たちの質問に関連づけて自分が疑問に思ったことを反対に質問してくるなど、彼らにはよい意味で貪欲な印象を受けました。自分の将来を見据えてさまざまなことに取り組む姿勢は、ぜひ見習いたいと思います。



4年 森本 涼歩さん

プレゼンテーションの素晴らしさに感銘

MCPHSの学生によるプレゼンテーションで、薬学研修時に興味を持ったMCPHSのカリキュラムの内容を、彼らから直接聞いたのがよかったと思っています。彼らの堂々としたプレゼンとはとても素晴らしく、大学を代表して来日されているだけのことはあると感心しました。また、アメリカの薬剤師はとても信頼されている職業と聞いて、海外の薬剤師や医療について理解を深めることは、薬剤師になるうえで必要なことかもしれないと思いました。ここでの気づきを忘れず、「よりよい医療の担い手」となれるよう努力します。



6年 田村典子さん

Event Report

7月 JULY

夏休み子どもいろいろ体験スクール

7月29日(火)、神戸市東灘区との地域連携協定事業の一環として小学生向けのイベント「夏休み子どもいろいろ体験スクール」を開催しました。小学校3～6年生の60名が受講。テーマは「薬剤師のお仕事を体験してみよう!」で、実際に白衣を着用し、薬剤師業務である調剤体験やお薬交付、服薬説明を体験しました。終了後は、薬学臨床教育センター長 濱口常男教授が体験スクールの修了証を交付しました。



子どもたちに自己紹介する学生たち



一人ひとりにていねいに説明

8月 AUGUST 10月 OCTOBER

オープンキャンパス

8月2日(土)、3日(日)、23日(土)と10月4日(土)にオープンキャンパスを開催しました。在学生がサポーターとなり、高校生や保護者を案内したり、相談コーナーでさまざまな質問に答えたりと活躍し、オープンキャンパスを盛り上げてくれました。

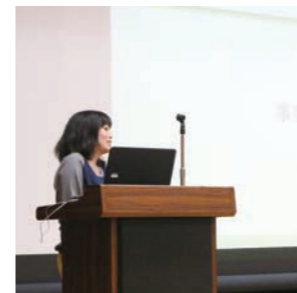
昨年好評を得た、進学説明会で卒業生が登場し直接メッセージを伝える企画を本年も実施。卒業後の体験に基づいた先輩からのメッセージに多くの高校生が耳を傾けました。高校生の進路を考えるきっかけづくりの場に力を貸していただいた卒業生ならびに在学生サポーターの皆さん、ありがとうございました。



今年も盛り上げてくれた在学生サポーター



イベント「キャンパス見学」の受付



「進学説明会」卒業生のメッセージ



「相談コーナー」



「キャンパス見学」

8月 AUGUST

インターンシップ

学生が、自身の適性を把握するとともに、職業意識やキャリア意識の向上を図ることを目的に、インターンシップの参加を推奨しています。他大学の学生や社会人との交流によって視野が広がる機会にもなるため、今年も多くの学生が参加しました。

単位修得要件を満たした参加学生には、4・5年次共通の専門教育科目の選択科目として単位を配当しています。単位は、受け入れ先からの「評価表」と、10月に学内で行う「インターンシップ報告会」の発表結果を総合的に評価して付与しています。



単位制インターンシップ報告会

参加学生インタビュー

インターンシップ先 塩野義製薬株式会社 期間 8/24～8/28(5日間)
将来は、MR職を希望しているため、インターンシップで適性を確かめたいと参加しました。MRの方の顧客訪問に同行し、実際の仕事に触れることができたのがよかったです。MR業務の場面を想定したロールプレーでは、思うようにできず悔しい思いをしましたが、他大学の学生に刺激され、何度も練習するなど積極的に取り組みました。初めてのことは尻込みしがちですが、消極的では自分を成長させられないと実感しました。「まず挑戦」をこれからの自分のテーマにしようと思わせてくれた、有意義な経験になりました。



4年 石井 健斗さん

インターンシップ先 株式会社リニカル 期間 8/26～8/28(3日間)
授業で学んだ臨床開発モニター職の仕事に興味を持ち、インターンシップ先を選びました。治験依頼や安全報告のロールプレーでは、最初は緊張して内容を伝えるだけで精一杯でしたが、練習を重ねるうちに、余裕を持ってできるようになりました。また、他大学の学生のユーモアを交えたプレゼンをヒントに、自己PRで使える「持ちネタ」を用意して、彼らに負けないように取り組みました。デリバリー(話し方)スキルが、卒業研究発表や就職活動にも生かすことができ、人前で話す自信にもつながることを、インターンシップから学びました。



5年 越川 奈菜さん

9月 SEPTEMBER

初期体験臨床実習

9月16日(火)～20日(土)に神戸大学と合同で実習を行いました。医学・医療系学生と共に医療の現場に触れ、チーム医療の認識を深めることが目的です。

初日は、実習に向けた基礎的認識やモチベーションの向上を図るため、オリエンテーションとチームビルディングのほか講演会を開催。翌日から班に分かれて、兵庫県、大阪府内の病院で医療の実際を1日体験しました。最終日は、班でチーム医療について討論し、全体で実習成果の発表会を行いました。その後、意見交換やベスト発表賞の投票などを行い、充実した全日程を終了しました。



全体オリエンテーション

[講演者]小児がんを克服したシンガーソングライター「より子」さん/認知症の妻との生活から患者中心の医療を推進するNPO法人の酒井邦夫さん/薬害被害者として啓発活動を行う増山ゆかりさん

4月	2日	入学式
	4日	(5年) インターンシップガイダンス
	7日	前期開講日
	10日	(5年) 第1回就職ガイダンス (6年) 病院ガイダンス
	11日	(6年) 公務員ガイダンス
	14日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(i期) (4年) インターンシップガイダンス
	17日	(6年) 第7回就職ガイダンス
	18・24・25日	(6年) 模擬面接・模擬グループディスカッション
	19日	第15回公開市民講座
	26日	(6年) 病院実習・薬局実習報告会(Ⅲ・Ⅲ・Ⅳ期) (4・5年) 「海外薬学研修」報告会
	27日	第82回創立記念日
5月	12日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(Ⅰ期)
	24日	(6年) 卒業研究発表会
	25・31・6/1日	第40回卒業後研修講座
6月	8日	全学年ビジネス・マナー講座 (4・5年) 公募制インターンシップガイダンス
	27日	(1年) 早期体験学習発表会 (P.9)
7月	7日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(ii期)
	14日	前期定期試験(～7/25)
	29日	夏休み子どもいろいろ体験スクール
	30日	全学年キャリア教育講座
	30・31日	(5年) 第2・3回就職ガイダンス (P.19)
8月	2・3・23日	オープンキャンパス
	23日	(5年) 病院実習・薬局実習報告会(Ⅰ・Ⅰ期)
	28・29日	(6年) 卒業研究発表会
9月	1日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(Ⅱ期) 前期追再試験(～9/9)
	16日	(1年) 初期体験臨床実習(～9/20)
	20日	(1年) 初期体験臨床実習(全体発表会)
	22日	後期開講日
	26日	秋季卒業式
	29日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(Ⅲ期)
10月	4日	オープンキャンパス ききょう祭(裏表紙)
	25日	単位制インターンシップ報告会
11月	8日	保護者懇談会 保護者のための就職ガイダンス
	22日	全学年キャリアガイダンス
12月	14日	(4年) 薬学共用試験OSCE本試験
	15日	(5年) 模擬面接・模擬グループディスカッション
	15・16日	(5年) 第4・5・6回就職ガイダンス
1月	7日	(5年) 病院実習・薬局実習開始(Ⅲ・Ⅳ期)
	8日	後期定期試験(～1/21)
	22・23日	(4年) 薬学共用試験CBT本試験
2月	19日	後期追再試験(～2/27)
	28・3/1日	第100回薬剤師国家試験
3月	1日	(3・4年) 海外薬学研修[ボストン](～3/13)
	13日	学部卒業式・大学院修了式
	25・26日	学内就職フェア
	27日	第100回薬剤師国家試験合格発表

Information

京都健康フォーラム



10月11日(土)に、佛教大学にて京都健康フォーラム「第3回 Together ～健康を考える学生たち」が開かれました。11大学の学生を含む約100名が参加し、本学からは、臨床薬学研究室の沼久内祐子さん(6年)が、「京都から神戸へ薬学生による未成年への体験型防煙授業の実施」をテーマに発表しました。

2015年度 入試スケジュール

詳細はホームページをご確認ください。

学部入学試験	出願締切日	試験日
推薦入学試験(公募制・併願可)	2014年10月24日(金)	2014年11月3日(月・祝)
大学入試センター試験利用入学試験	2015年1月19日(月)	2015年1月17日(土)・18日(日)
一般入学試験(前期)	2015年1月21日(水)	2015年2月4日(水)
一般入学試験(中期)	2015年1月29日(木)	2015年2月11日(水・祝)
一般入学試験(後期)	2015年2月27日(金)	2015年3月8日(日)

出願締切日:消印有効、窓口にて持参の場合は翌日午後5時必着(土・日曜・祝日除く)

大学院入学試験	出願締切日	試験日
修士課程(薬学専攻)一般2次・社会人特別選抜	2015年3月6日(金)	2015年3月14日(土)
博士課程(薬学専攻)一般2次・社会人特別選抜2次	2015年3月6日(金)	2015年3月14日(土)

出願締切日:郵送の場合は書留便にて締切日必着

けん玉チャンピオン!世界大会で活躍!



5年 中村 有美さん



全日本学生けん玉選手権大会の優勝など全国チャンピオンの経験もある中村さんが、今年、さまざまな世界大会で好成績を収めました。出身地である広島県廿日市で行われた世界大会では決勝まで進み、デンマークでのヨーロッパ大会や東京での世界大会ではともにベスト8入り!さらにハワイでステージパフォーマンスも行いました。デンマークなど海外のプロチームからのオファーもあり、世界中のけん玉ファンから動向が注目されています。

「長期実務実習の実習先では、けん玉をきっかけに子どもやお年寄りとの会話が広がりました。けん玉のブロが現実的になってきましたが、夢である病院薬剤師になれたら、入院患者さんに披露したり、子どもに触れてもらったりしたいと考えています」(中村さん)

人事・受賞者・寄付金受納 (2014年9月末現在)

<人事>

●死亡退職
名誉教授・特別教授 守安 正恭 2014年6月7日付

●採用
講師 中山 喜明 2014年9月16日付

<受賞・受賞・表彰>

名誉教授・特別教授 田中 研治 兵庫県功労者表彰(教育功労) 2014年5月3日付
名誉教授・特別教授 守安 正恭 従五位 瑞宝小綬章 2014年6月7日付

<寄付金>

神戸薬科大学桔梗育友会 金一封
田中 研治 様 金一封

※学生の表彰は「学生の受賞・表彰」P.20で紹介しています。

対話の力

「人に向かう医療」を考える

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

高度ながん医療・研究等を実践できる優れたがん専門医療人を育成するため、文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」事業に参画しています。大学院薬学研究科薬学専攻博士課程に「がん専門薬剤師基盤育成コース」を設け、「がん専門薬剤師」「がん薬物療法認定薬剤師」の取得を目指しています。

このプログラムの一環として、年に数回、医療従事者や学生、一般市民の方を対象に講演会やシンポジウムを企画し、地域におけるがん医療の向上を図っています。

第5回がんプロ講演会

8月24日(日)、「がん医療の隙間を埋める」をメインテーマに開催しました。第1部の講演会では、順天堂大学 医学部教授 樋野興夫先生をお迎えして、「がん哲学外来 ～こころの処方箋～人生いばらの道でも、宴会を」をテーマに、患者に寄り添うことや対話の重要性をお話いただきました。続いて、脳腫瘍を克服したシャンソン歌手の安土明中子さんに、ご自分の体験から、前向きに生きる大切さをお話いただき、最後は参加者と一緒に歌を歌いました。それぞれがいろいろな思いを抱きながらの感動的な時間になりました。

また、第2部の**メディカル・カフェ**は、38名の参加者が5グループに分かれ、「医療の隙間を感じたことはあるか」というテーマで約1時間話し合いました。患者さんや学生を含め多くの職種の方が参加され、それぞれの立場での気づきや学びがあったようです。

当日のポスター



樋野 興夫 氏



安土 明中子 氏

スケジュール

第1部

講演テーマ「がん哲学外来 ～こころの処方箋～人生いばらの道でも、宴会を」

講師 樋野 興夫 氏 順天堂大学病理・腫瘍学教授
一般社団法人がん哲学外来理事長

講演テーマ「唄「くよくよしないで、希望を持って!」

講師 安土 明中子 氏 シャンソン歌手

第2部 メディカル・カフェ

がん哲学外来

「がん哲学外来」は、一般的ながん相談やセカンドオピニオンとは違う「対話型外来」です。がん患者さんは、がんとともに生きていく上で、病気を治すことだけでなく、人とのつながりや尊厳を持って生きることを求めています。患者さんの苦悩や気がかりに耳を傾け、共感し、さらに一歩踏み込んだ対話により、患者さんの希望や欲求を救い上げることを目的としています。

「がん哲学外来」とは、生きることの根源的な意味を考えようとする患者さんと、がんの発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする人との「対話の場」です。

メディカル・カフェ

「がん哲学外来」が「メディカル・カフェ」として全国に広がりました。がん哲学外来と同様、患者さんやがん経験者、ご家族や医療従事者などが、ゆったりとした雰囲気の中で、お茶を飲みながら対話する場です。地域の有志による運営や病院での常設のほか、協力する企業も増えています。

一般社団法人 がん哲学外来『がん哲学外来 メディカル・カフェの手引き』より



メディカル・カフェにて



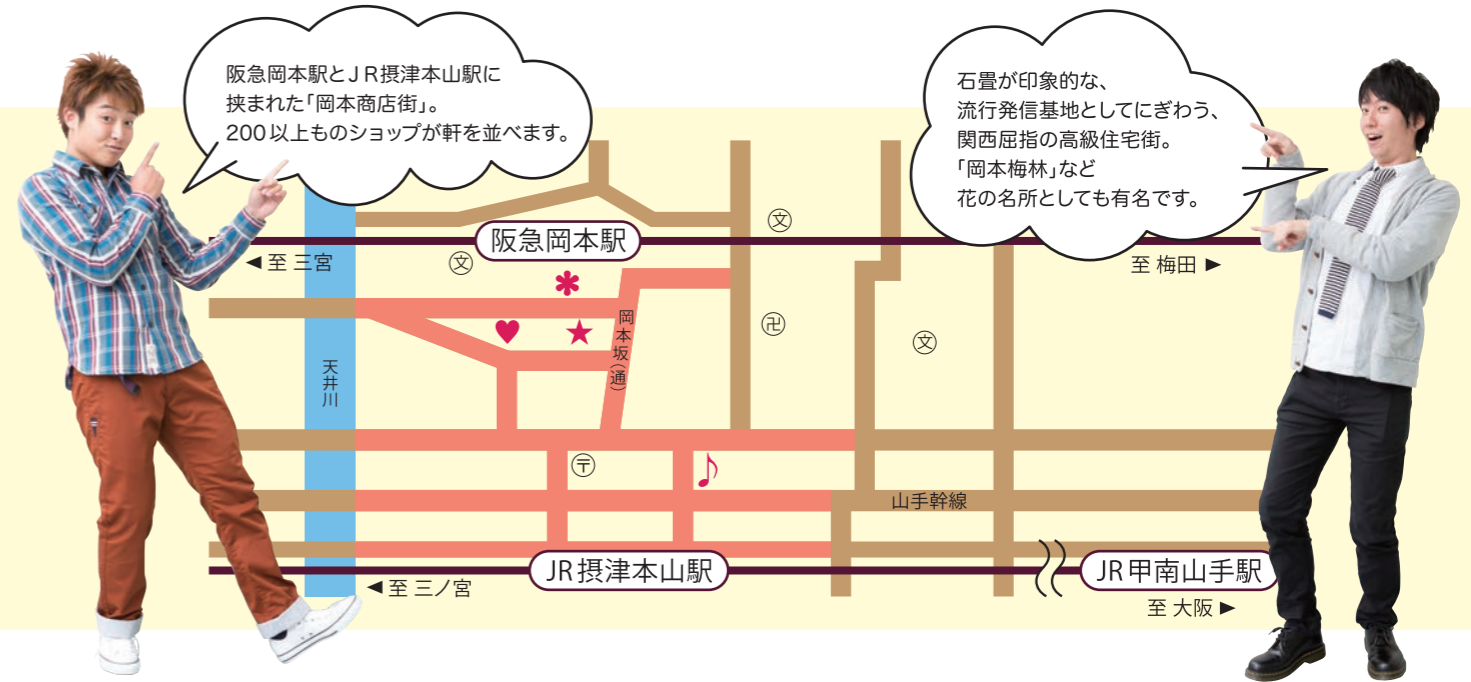
樋野先生のお話に、医療従事者に必要なのは「患者さんの話を聞くこと」とありました。「対話の力」を磨き、「対話の力」で寄り添うことは、患者さん主体の医療を行うためにも大切なことだと気づかされた人もいたようです。たとえば、1時間黙ったまま同じ部屋にじっと存在することも、対話の力(関係の力)とのこと。そのような「対話」できる関係性を学んだり、再構築したりする場としてメディカル・カフェを推進していくというお話が印象に残りました。

参加者の感想より(一部抜粋)

- たくさんの方の話を聞き、寄り添うことや話を聞くことの大切さがわかった。薬剤師を目指す上で勉強になった。(20代・女性)
- 患者さんだけではなく医療従事者も「隙間」を埋めてもらえるイベントでした。(50代・男性)
- 同じ病気でも百人百様のとらえ方があると感じた。人に寄り添う気持ち(心)を持つことの大切さを知りました。(70代・男性)

OKAMOTO MAP

本学の最寄り駅がある岡本は、古くから学生の街として知られていますが、最近では洗練されたおしゃれな街としても注目されています。そんな街の魅力を教職員や学生が案内するOKAMORO MAPですが、今号は、その岡本の街を知り尽くした地元の情報通からお話をうかがいました。そして、満を持して男子学生も登場。いつもと少し違うコーナーをお楽しみください。



阪急岡本駅とJR摂津本山駅に挟まれた「岡本商店街」。200以上ものショップが軒を並べます。

石畳が印象的な、流行発信基地としてにぎわう、関西屈指の高級住宅街。「岡本梅林」など花の名所としても有名です。

おしゃれなカフェから
ファストフードまで

女子が好きそうな店や
居酒屋もあるよね

四方さん 田岡さん お気に入りの
OKAMOTO Picture



3年 四方 友也さん

3年 田岡 京将さん



tea room mahisa 岡本店▼
ゆったり過ごせるカフェ。
ランチタイムの和食もおススメ。

★安政堂▲
人気の「岡本ロール」は神戸に
来た家族がよく買って帰ります。

四方さん 田岡さん撮影

四方さん「下宿生活をしており、月に2回くらいは友人と夕食を食べに、街に繰り出します。彼女と雑貨屋巡りをするのも。お昼はオシャレな街、夜は静かな住宅街という雰囲気を楽しめます」

田岡さん「月に4~5回は友人と夕食に。安いのでチェーン店を利用することが多いです。両親が地元からきたときは一緒に散策したり、女子の買い物に付き添ったり、過ごす相手を選ばない街ですね」

神薬大に入学して

大学生活・勉強について

四方さん 勉強に追われるなど、忙しいイメージがありましたが、有効に使えば自分の時間も十分に取れます。

田岡さん 6号館が新設されるなど、キャンパスがきれい過ぎてしやすくなりました。勉強に集中できます！

将来の夢・なりたい私

四方さん 病院薬剤師として働きたいと思っています。まずは、目の前にある定期テストに全力でがんばります。

田岡さん 地元に戻って、憧れの神戸で学ばせてくれた両親に孝行します。まずは勉強あるのみです。

学生が育つ岡本商店街。 人材育成に貢献する取り組みも構想中!

店主や住人だけでなく、企業経営者や、他学生も……
幅広い年代層の人と語り、人生を学べるもう一つの学びの場です。

若者の成長には、大学での学びは当然ですが、学外で得る経験や人との交流も必要です。世代を超えたさまざまな人とのコミュニケーションは、社会に出たときに大きな財産になります。岡本には、これらに大きく寄与する環境があります。

岡本商店街は、学生向けはもちろん、企業の経営者や重役クラスが利用する店もあり、種類が豊富です。その環境を生かした構想があります。学生が自由に巡り、なんでも話せる場を商店街の各所に配置して、さまざまな立場の社会人と気軽に話をしてもらおうというものです。その相手は、他大学の先生、社会のキーマンかもしれない、世代間の交流を取り持ちたいという考えです。商店街と学生との長期的な接点を創造するための、マーケティング的な要素もありますが、学生のキャリア支援の機会になると確信しています。

岡本の街がきっかけで、東日本大震災の被災者を支援する取り組みへ

東日本大震災は5年次の病院実習期間に起こりました。アルバイトや商店街のイベントの手伝いなどで知り合った松田氏や街の人から、阪神大震災で被災した話を聞いていたことから、東北の皆さんの役に立ちたいと思い、その年の6月、商店街の視察メンバーと気仙沼へ行きました。

現地の衝撃的な光景を目にし、できることはと考え、「ツタエテガミプロジェクト」を立ち上げました。岡本で街とつながり、さまざまな世代と交流を持ったことで、大人の考え方を学びました。今の私は、この交流が育ててくれたと実感しています。後輩には、岡本が自分の可能性を広げられる街であることを知ってほしいです。ちょっとした寄り道から、自分が変わる大きなきっかけが生まれるかもしれませんよ。



OKAMOTO案内人
松田 朗さん

岡本商店街振興組合 理事長
イタリアンレストラン「アリオリオ」オーナー

＊「アリオリオ」



東日本大震災復興支援
ショップ
「気仙沼まただいん」



OKAMOTO案内人
早瀬 友季子さん

2012年卒業
株式会社アカカベ 勤務 薬剤師



商店街に設置している
「ツタエテガミプロジェクト」の
投稿ボックス

ツタエテガミ プロジェクト

東日本大震災の年、被災された一人ひとりと心のつながりを文通で作りたいたいと考え、甲南大学の友人とふたりで結成。岡本の皆さんからの手紙を気仙沼に届けています。現在、早瀬さんは、日本災害医療薬剤師学会に入会し、医療救護活動に取り組み災害支援薬剤師を目指して研修中です。

ブログ
<http://tsutaetegami.blog.fc2.com/>

充実した学生生活を送り、自らが主体的に考え行動するクラブ活動は、学年を超えた多くの学生との交流を深め、豊かな人間性を身につけることができる場です。「チーム医療」の一員としての自覚を養い、コミュニケーション力を磨くことができる有意義な場でもあります。ほとんどの学生が、勉学に励みながら、クラブ活動にも積極的に参加しています。

ダンス部

ダンスが好きな仲間と最高のライブパフォーマンスを目指しています。



今年のききょう祭も躍動感あふれるパフォーマンスでした。大勢の観客と会場が一体になって盛り上がりました。勉学との両立は大変ですが、これからもカッコいいダンスを期待しています。

顧問
竹内 敦子 准教授



練習風景



ききょう祭のリハーサル中!

活動内容

顧問 竹内 敦子 准教授 部員 27名

活動日：毎週月・水・土曜の10時～17時

試験前の1カ月は試験勉強に集中するためお休み。



部長
3年 小堀 友規子さん

普段は年3回の公演に向けた練習を行っており、ダンス初心者には、先輩が基本から教えています。公演では、振り付け、選曲、構成、演出とすべて部員が行います。それぞれが意見をぶつけ合いながら、練習を重ねて完成度を高めていきます。ダンスにこだわりのある仲間たちなので、意見を調整する過程は大変ですが、その分、達成感もひとしおです。アクロバティックなダンスも可能になるので、男子学生の入部を待っています。

ひとこと

ききょう祭

大学祭で上演するのは本学だけという「よしもと新喜劇」のほか、模擬店やイベントも行いました。当日はたくさんのお客さまに来学いただき、大盛況でした。

▶写真：裏表紙

戦績・活動報告

主な公演：新入生歓迎行事(4月)・ききょう祭(10月)・クリスマスパーティー(12月)

今年は大雨の影響で、ききょう祭の練習時間が思うようにとれなかったのですが、当日は大満足のダンスを披露できました!!

SLT 同好会

ゼミ発表や就職活動、社会人になっても役立つプレゼン力を磨いています。



SLTを立ち上げたときから顧問を務めています。部員の自主性に任せており、彼らが熱心に活動している姿に感心することしきりです。顧問に選んでくれてありがとうと言いたいです。

顧問
上田 昌史 准教授



活動中のコマ

活動内容

顧問 上田 昌史 准教授 部員 16名

活動日：毎週月曜日17時～19時



部長
3年 鶴村 真大さん

SLTの前身はプレゼンテーション同好会です。プレゼンテーションやディスカッション、ディベートを経験して、コミュニケーション能力や発表力を高められるように、メンバー同士で指摘し合い、プレゼンテーションの内容をブラッシュアップさせています。大勢の前で話す機会もあり、人に聞いてもらえる話し方のテクニックも学べます。「さまざまな人から学びとり、自分に生かそう」を目標に、部員一同、明るく楽しく活動中です。

ひとこと

社会人基礎力

プレゼンテーション力など、「学んだ知識を実践に活用するために必要な力」として経済産業省が提唱。企業の採用担当者が重要視しているスキルの一つです。

活動報告

最近の活動では、部員それぞれが好きなこと、紹介したいことについてプレゼンをしました。夏期休暇には六甲カンツリーハウスへ行きバーベキューなどをして親睦を深めました。

Career Guidance

就職ガイダンス・キャリア教育講座 実施報告

第2・3回就職ガイダンスおよびキャリア教育講座を、7月30日(水)・31日(木)の2日間にわたり開催しました。就職ガイダンスは5年次生を対象に、キャリア教育講座は全学年を対象に実施しました。

第2回就職ガイダンス・キャリア教育講座

実施日 2014年7月30日(水)

自己分析ワークショップ

5年次生を対象に、外部講師によるワークショップ形式で行いました。就活では、「何を軸に置くか、何を大切にするのか」は、人それぞれに違うはずですが、「自分の軸」を持って、自分で決断することが重要です。そこで必要なのが「自己分析」です。ワークショップでは、自己分析の方法を学び、ペアでお互いのことを発表し合い、過去から未来への自分を分析する作業を行いました。

自分の人生を自分らしく生きるために、将来をしっかり考える時間になったことでしょう。

キャリア教育講座

第1部「バンブー竹内の「聴くクスリ」」では、文化放送アナウンサーの竹内靖夫氏の軽妙な進行のもと、ゲストスピーカーとして、TVでも知られる住田裕子弁護士が登場されました。妻として母として、さまざまな立場で社会に貢献されている住田氏のお話は、自信に裏付けされたエネルギーなものでした。学生からは、「自分の考えを深めるヒントを得られた」という声が寄せられました。

第2部「先輩薬剤師によるトークセッション」では、卒業生である先輩薬剤師が、学生時代の就職活動や、現在の職場を選んだ経緯、また、現在の業務内容や仕事のやりがい、そして将来への抱負などを語ってくれました。学生には現実を見つめるとともに、大きな刺激になったようです。



先輩薬剤師によるトークセッション

OB・OG薬剤師と在学生の懇親茶話会

リラックスした和やかな雰囲気の中で、先輩に積極的に質問。将来の夢をかなえるためのアドバイスを受けていました。

左) 竹内氏 右) 住田弁護士



キャリア教育講座 スケジュール

- 第1部 Campus Radio「バンブー竹内の「聴くクスリ」」
テーマ「変わりゆく社会の中で守りたいのちと心」
パーソナリティ 竹内 靖夫氏 (文化放送アナウンサー)
ゲストスピーカー 住田 裕子 弁護士
- 第2部 先輩薬剤師によるトークセッション
テーマ「薬剤師として働く喜び、そして新たな発見」
- 第3部 懇親茶話会 ● 先輩薬剤師と在学生
● 薬局人事担当者と学生就職委員



当日のポスター

第3回就職ガイダンス

実施日 2014年7月31日(木)

人事・採用担当者を招き、各職種の説明をしていただきました。薬学部卒業生には、多様な職種の選択肢があります。自分が興味ある分野、自分の適性に合った職種への進路選択がうまくマッチするよう、各職種をよく理解し、自分にとっての魅力ややりがいを見出してほしいと願っています。



職種紹介セミナー

職種紹介セミナーで紹介した職種

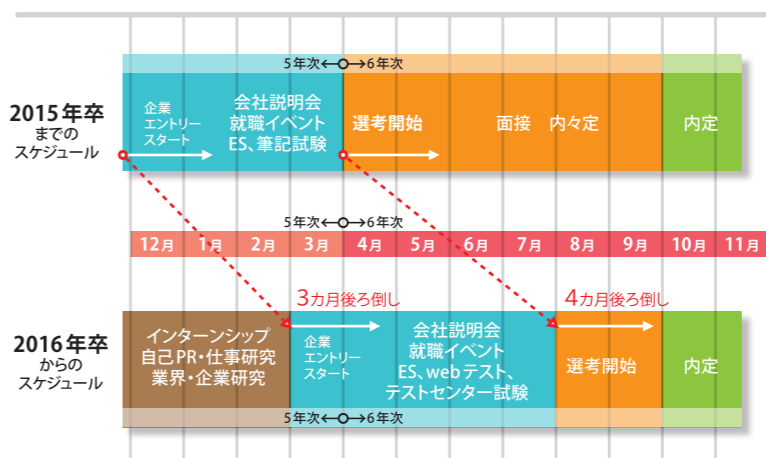
- 研修生・薬剤師レジデント ● 研究開発・生産技術・品質管理・製造・MR
- 保険調剤薬局・ドラッグストア薬剤師 ● 公務員
- CRO・SMO(臨床開発) ● 病院薬剤師 ● 医薬品卸

2016年卒生の就活スケジュールが激変。就活開始時期が3カ月遅くなります!

2016年卒業予定の学生から、就活のスタート時期が「5年次の12月」から「翌年の3月」へ後ろ倒しされます。これは、2013年に政府の要請を受けた経団連が「採用選考に関する指針」を発表し、加盟企業に対し順守するよう求めているためです。ただし、経団連に加盟していない企業や病院、薬局などは従来のスケジュールのままと思われるので、早めの準備を心がけてください。

2016年卒生の就活スケジュール [企業対象]

会社説明会の解禁時期が5年次の3月、面接などの選考活動は6年次の8月へ!
現行より説明会は3カ月、選考活動は4カ月後ろ倒し!
内定時期は6年次の10月と変更なし!



薬学生の就活ポイント

病院・薬局実習や国家試験対策などがある薬学生は、他学部の学生よりも効率的に就活を行う必要があります。まず、スケジュールにかかわらず、時間のあるときに「自己分析」「仕事研究」を始めるようにしましょう。

「自己分析」では、自分の長所を理解し、自己PRへ結び付けること。「仕事研究」では、自分がやりたい仕事、たとえば、病院薬剤師になりたいのか、地域の調剤薬局で働きたいのか、製薬メーカーでMRとして活躍したいのかなど、将来のビジョンを明確にすることをポイントにするといいでしょ。

そのうえで、大学に来ている求人情報、学内外で行われる合同病院・薬局・企業説明会や薬学生向けの就職情報サイトなどを使って就活を進めましょう。

図版・本文 株式会社ディスコ

2014年度前期 学生の受賞・表彰

学会や研究会などで研究成果を発表し、受賞を果たした学生を紹介します。



博士課程1年 志田 美春さん (生化学講座)

第61回日本生化学会近畿支部例会発表優秀賞

受賞タイトル.....

「コンドロイチン硫酸受容体を介した神経細胞の極性形成過程の制御機構の解析」

新学術領域「神経糖鎖生物学」第7回領域班会議最優秀ポスター賞

受賞タイトル.....

「極性形成過程におけるコンドロイチン硫酸受容体を介した神経突起の伸長制御機構の解析」



6年 深見 正季さん (薬品化学研究室)

第34回有機合成若手セミナー優秀発表賞

(日本薬学会近畿支部及び有機合成化学協会関西支部より表彰)

受賞タイトル.....

「複素環の簡便な導入法の開発」

在学学生も卒業生も、薬剤師を徹底サポート

「薬剤師」を鍛える

生涯学習支援が充実 エクステンションセンター

薬剤師のアドバイスが求められている「サプリメント選び」

生涯研修の一つとして「健康食品講座」を実施しています

「健康食品講座」とは

本学では、複数ある生涯研修プログラムの一つとして「健康食品講座」を開講しています。

「健康食品講座」は「健康食品」をテーマに2008(平成20)年度からリカレントセミナーの一環として始めた研修で、今年度までに12回の研修会を実施しました。

超高齢化社会を迎える昨今、生活習慣病予防にかかわる特定健康診査・特定保健指導制度が始まり、国民の健康への関心が高まるにつれて、ヘルスケアのためのサプリメントは身近なものになりました。医療機関から処方される薬に加えて、健康食品の利用は増大しています。一方では、健康被害などの報告もあり、今後安全面に対して薬剤師の知識が大いに生かされることが期待されています。健康食品に関する法律から、健康食品の適切な利用などを含め、薬剤師の立場から正しい情報提供ができるよう研修を重ねています。

神戸薬科大学では“健康食品指導薬剤師”を認定しています

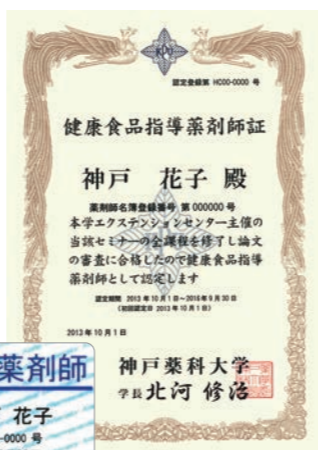
「健康食品指導薬剤師」とは

健康食品に期待される三次機能(生体調節による健康の維持、疾病の予防、体調リズムの調節、老化の抑制など)に関する専門知識を有し、これらの食品を消費者が利用しようとするときに、有効かつ安全に摂取できるよう適正な情報を提供できる薬剤師を健康食品指導薬剤師と称し、神戸薬科大学がこれを認定します。

「神戸薬科大学健康食品指導薬剤師認定」を取得するには

薬剤師であることが条件です。さらに、エクステンションセンターの指定する「健康食品基礎講座」の課程を修了し、論文試験に合格された方を健康食品指導薬剤師として認定しています。

今年度で、6回目の「健康食品指導薬剤師」認定試験を実施し、合計266名が合格しています。



健康食品指導薬剤師カード

「健康食品講座」は4・5年次の専門教育科目(選択科目)にもなっています

選択科目として単位を希望する場合は、必要条件を満たせば専門教育科目「健康食品(1単位)」として単位認定を行います。

エクステンションセンターで実施している研修プログラムは、常に学部学生に参加を呼びかけています。単位に関係なく、先輩薬剤師と一緒に各プログラムを受講することは、医療へのかかわり方等について少しでも理解を深め、将来の薬剤師像を描くよい機会になるので、大いに活用してください。



健康食品やサプリメントの利用目的は、健康の維持、栄養成分の補給、疲労回復、ダイエット、病気の予防などに使われていますが、約5%は病気の治療目的に利用しているそうです。

何らかの病気で医薬品を服用している場合、体によいからといって安易に健康食品(サプリメント)を使用した場合、本来の医薬品の効果が減弱したり、反対に増強されたりする場合があります。

薬の飲み合わせ等について疑問があれば、必ず薬剤師に相談しましょう。

詳細は本学「エクステンションセンター」ホームページをご確認ください。

HYOUSHI TANBOU

表紙探訪

ベンゼン池

季節を感じる樹木に彩られ
生まれ変わった憩いの場

2014(平成26)年度 事業計画におけるキャンパス整備の一環としてベンゼン池の景観改修工事を行いました。周囲の散策路や北側斜面の改修のほか、薬用植物園監修のもと、薬科大学らしい樹木や草花が新たに植えられました。

ところで「ベンゼン池」が通称ということはご存知ですか? 開学当初、「ベンゼン環」にそっくりの形状だったことから呼ばれるようになったとか。長いキャンパスの歴史の中で形は変わりましたが、今も「ベンゼン池」の名前で親しまれています。

阪神大震災の際には、水源としても活躍したベンゼン池は、緑豊かなキャンパスのランドスケープとして大学を象徴しています。



散策路にベンチを設置するなど、学生や教職員はもちろん、地域の皆さんが季節の移ろいを感じられる憩いの場として生まれ変わりました



本当の名前は「生駒池」。学内にある生駒古墳との関係は?



ベンチでくつろぐ学生がピースサインでこたえてくれました

学長メッセージ

教育・研究の発展に全力を注ぎます。

本学では、津波古学長、棚橋学長の時代を通じてキャンパス整備が行われてきました。6年制教育の実施のための11号館の建設、3、4号館の耐震工事、創立80周年を記念した新6号館の建設、そして、本年度は、ベンゼン池の整備、7号館の耐震工事を実施しています。学生が安心して快適なキャンパスライフを送るためには、キャンパス整備は欠かせません。現在、1・2号館の耐震工事について立案を進めているところです。

同時にカリキュラムおよびそれを実施する教員組織の充実の本学の発展のために欠かせません。6年制薬学教育の根幹となる「薬学教育モデル・コアカリキュラム」が改訂となり、2015(平成27)年度の入学生から新カリキュラムでの教育がスタートします。今回の改訂では、カリキュラム全体の3割程度に各大学の特色を発揮した科目設定が求められています。本学では、その中で将来の進路も見据えた選択科目の設定を考えています。学生の進路として、病院薬剤師、在宅医療あるいはセルフ・メディケーションを推進する薬局薬剤師、企業での研究・開発等があります。科目の履修を通じて進路を考え、学修のモチベーションを高める相乗効果を期待しています。また、日頃より学生に対して、人とのつながりの大切さを話しており、医療現場で、患者さんやその家族の気持ちを理解して行動できる人材を育成したいと考えています。また、「くすり」の作用・副作用の出現は患者さん個々で異なります。個別性を考慮した医療を提供するには、獲得した知識を組み合わせる活用する能力が必要であり、複数の科目内容を統合した教育を推進することの重要性を感じています。

iPS細胞の誕生により、今後の医療は大きく変化します。大学での教育・研究も、この変化に対応していく必要があります。また、大学の役割として地域とのつながりが欠かせません。神戸大学との連携を深めるとともに、地元の自治体や薬剤師会、近隣の大学や病院と連携しながら、本学の教育・研究を発展させることに全力を注いでいきます。



北河 修治 学長

～学生のいる風景～



ききょう祭
2014年10月4日(土)